

問6 現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

補問6-1以降をお答えください。	1 仕事についている（休業中(育児休業、介護休業など)を含む)	問7にお進みください。
	仕事についていない（1以外）	
	2 家事に従事している	
	3 通学している	
	4 その他	

補問6-1 現在、複数の仕事についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 ついている	2 ついていない
---------	----------

一番長い時間している仕事についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

補問6-2 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主 2 自家営業の手伝い 3 自宅で賃仕事（内職） 4 正規の職員・従業員 5 アルバイト 6 パート 7 労働者派遣事業所の派遣社員 8 契約社員・嘱託 9 その他	雇用保険（失業保険）に加入していますか。あてはまる番号に○をつけてください。
--	--

1 している	2 していない	3 わからない
--------	---------	---------

補問6-3 従業者の数（会社や事業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	3 30～99人	5 500～999人	7 5000人以上
2 5～29人	4 100～499人	6 1000～4999人	8 官公庁

補問6-4 該当する職業1つに○をつけてください。

1 専門的・技術的な仕事	4 販売の仕事	7 運輸・通信の仕事
2 管理的な仕事	5 サービスの仕事	8 生産工程・労務作業の仕事
3 事務の仕事	6 保安の仕事	9 その他の仕事

補問6-5 現在の仕事についてのはいつですか。

1 昭和	□ □ 年 □ □ 月
2 平成	

補問6-6 就業時間等についてお答えください。複数の仕事についている場合は、それらの合計でお答えください。

1 週間の就業時間	この1週間	□ □ □ □ 時間
1 週間の勤務日数	通常	□ □ 日
1 日の通勤時間	通常片道（往き）	□ □ 時間 □ □ 分

※ 複数の仕事についている場合は、1週間の平均的な通勤時間を記入してください。

問6で「仕事についていない」とお答えになった方のみお答えください。

問7 あなたは今後、仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 まもなく仕事につくことが決まっている
- 2 すぐにでも仕事につきたい
- 3 条件が合うものがあればつきたい
- 4 学校を卒業してから仕事につきたい
- 5 仕事につきたくない
- 6 つく必要がない
- 7 考えていない

- 補問7-1** それはどのような形態ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。
- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 6 パート |
| 2 自家営業の手伝い | 7 労働者派遣事業所の派遣職員 |
| 3 自宅での賃仕事(内職) | 8 契約社員・嘱託 |
| 4 正規の職員・従業員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト | |

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。

- 1 している
- 2 していない

問8にお進みください

問8はすべての方がお答えください。

問8 配偶者(内縁関係も含む)はいますか。

- 1 いない
- 2 いる

補問8-2 配偶者の生年月日、同居を開始した年月を記入してください。

配偶者の生年月日			
昭和	年	月	日
同居を開始した年月			
1 昭和	2 平成	年	月

補問8-1 同居している異性のパートナーがいますか。

- 1 いる
- 2 いない

補問8-3 配偶者と同居していますか。

- 1 同居している
- 2 同居していない

補問8-4 あなたの配偶者は家事・育児を行っていますか。

- 1 している
- 2 していない

補問8-5 家事・育児を行ってくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1 非常に助かる | 3 あまり軽減とならない |
| 2 少しは助かる | 4 軽減とならない |

問9にお進みください

問10にお進みください

問9は配偶者がいない方のみお答えください。

問9 現在異性のパートナーがいる、いないにかかわらず、今後結婚したいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 絶対したい
- 2 なるべくしたい
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまりしたくない
- 5 絶対したくない

補問9-1、9-2は所得を伴う仕事がある方のみお答えください。現在休業中(育児休業、介護休業など)の方も含まれます。それ以外の方は**問10**にお進みください。

補問9-1 結婚した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 結婚した後も続ける
- 2 結婚を機にやめる
- 3 考えていない

補問9-2 結婚に関して、次のようなことがありますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- 1 結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる
- 2 会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある
- 3 結婚後も働き続けたいと思うほどの仕事ではない
- 4 上記1~3のようなことはない

問10にお進みください

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問 1 4 あなた（現在結婚している場合にはあなた及び配偶者）が平成14年6月中に支出した額を下欄に記入してください（ここでいう支出については、右下の（注1）を参照してください）。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

① 他家族の支出と区別	1 できる 2 できない
② 支出額 (③、④を含む)	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円
③ うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり 2 なし <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円
④ うち、お子さんの教育費 (幼稚園、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり 2 なし <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円

注1：支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料を含みません。

注2：千円未満は四捨五入してください。

お子さんをおもちでない方への質問は終了です。6頁の自由記載欄にお進みください。
問 1 5～問 1 7は、お子さんをおもちの方のみお答えください。

問 1 5 あなた又は配偶者のお子さんについてお答えください。（5人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

小学生以下のお子さんについておうかがいします。					現在、平日の日中に世話をしている家族について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。							
すべてのお子さんについておうかがいします。					あなた	配偶者	あなたの		配偶者の		その他	世話をする必要がない
性別	出生年月		同別居の別				父	母	父	母		
第1子	1 男	1 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>								
第2子	1 男	1 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>								
第3子	1 男	1 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>								
第4子	1 男	1 昭和	<input type="text"/>	<input type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>								

問 1 6 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 大いにある 2 多少ある 3 それほどでもない 4 ない

補問 16-1 子育てについて、どのような負担を感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

01 子育てによる身体の疲れが大きい	07 子どもが病気がちである
02 子育てで出費がかさむ	08 目が離せないので気が休まらない
03 自分の自由な時間が持てない	09 子どもにどのように接すればよいかわからない
04 夫婦で楽しむ時間がない	10 子どもに対して十分接していないという引け目を感じる
05 仕事が十分にできない	11 社会から取り残されたような気がする
06 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	12 その他 ()

問17 子育てをされていてよかったと感じることはありますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 家族の結びつきが深まった | 5 子育てを通じて自分の視野が広がった |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 6 夫の家族に対する責任感が強くなった |
| 3 毎日の生活にはりあいができた | 7 その他 () |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増えた | 8 よかったと思うことは特にない |

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

**たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。**

同封の封筒に密封のうえ、調査員にお渡しください。

なお、この調査の結果は、まとめ次第皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

* この調査についての連絡・問い合わせ先

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課国民生活基礎調査室 電話 (03)〇〇〇〇-〇〇〇〇 Eメール
--

総務省承認 NO.
承認期限 平成 年 月 日まで

第 1 回 20～30 歳代男女縦断調査 【男性票】(案)

(平成 14 年 月 日調査)

厚生労働省

調査員が記入										
地区番号				単位区番号				世帯番号		

問 1 あなたの生年月日についてお答えください。

昭和	年	月	日生
----	---	---	----

問 2 現在、同居している方は何人ですか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。 人 (ご自身はのぞきます)

問 3 あなたのご両親の生死の別、同別居の別についてお答えください。

(1)	生死の別	同別居の別	(2)	生死の別	同別居の別
あなたの父親	1 生存▶	1 同居	あなたの母親	1 生存▶	1 同居
	2 死別	2 別居		2 死別	2 別居

問 4 あなたが最後に卒業された (または在学中の) 学校はどれですか。あてはまる番号 **1 つ** に ○ をつけてください。

<p>(1) 最後に卒業された (または在学中の) 学校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 中学校</td> <td style="width: 50%;">5 大学</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>6 大学院</td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>4 短大・高専</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	5 大学	2 高校	6 大学院	3 専門学校	7 その他	4 短大・高専	▶	<p>(2) 卒業・在学中の別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 卒業</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>2 在学中</td> <td></td> </tr> </table>	1 卒業		2 在学中	
1 中学校	5 大学													
2 高校	6 大学院													
3 専門学校	7 その他													
4 短大・高専														
1 卒業														
2 在学中														

問 5 あなたはこの 1 年間 (平成 13 年 7 月～14 年 6 月) に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号に ○ をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院している	
2 病気やケガの治療のため入院した	
平成 <input style="width: 40px;" type="text"/> 年 <input style="width: 40px;" type="text"/> 月 ~ <input style="width: 40px;" type="text"/> 年 <input style="width: 40px;" type="text"/> 月	
3 上記 1、2 のようなことはなかった	

問6 現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

補問6-1以降 お答えください。	1 仕事についている（休業中(育児休業、介護休業など)を含む) 仕事についていない（1以外）	問7に お進み ください。
	2 家事に従事している	
	3 通学している	
	4 その他	

補問6-1 現在、複数の仕事についていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 ついている	2 ついていない
---------	----------

一番長い時間している仕事についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

補問6-2 それはどのような形態ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主 2 自家営業の手伝い 3 自宅で賃仕事（内職） 4 正規の職員・従業員 5 アルバイト 6 パート 7 労働者派遣事業所の派遣社員 8 契約社員・嘱託 9 その他	雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号に○をつけてください。
--	--

1 している	2 していない	3 わからない
--------	---------	---------

補問6-3 従業者の数（会社や事業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1 1～4人	3 30～99人	5 500～999人	7 5000人以上
2 5～29人	4 100～499人	6 1000～4999人	8 官公庁

補問6-4 該当する職業**1つ**に○をつけてください。

1 専門的・技術的な仕事	4 販売の仕事	7 運輸・通信の仕事
2 管理的な仕事	5 サービスの仕事	8 生産工程・労務作業の仕事
3 事務の仕事	6 保安の仕事	9 その他の仕事

補問6-5 現在の仕事についてのはいつですか。

1 昭和	□	□	年	□	□	月
2 平成						

補問6-6 就業時間等についてお答えください。**複数**の仕事についている場合は、それらの**合計**でお答えください。

1 週間の就業時間	この1週間	□	□	時間		
1 週間の勤務日数	通常	□	日			
1 日の通勤時間	通常片道（往き）	□	時間	□	□	分

※ 複数の仕事についている場合は、1週間の平均的な通勤時間を記入してください。

問6で「仕事についていない」とお答えになった方のみご記入下さい。

問7 あなたは今後、仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 まもなく仕事につくことが決まっている
- 2 すぐにでも仕事につきたい
- 3 条件が合うものがあればつきたい
- 4 学校を卒業してから仕事につきたい
- 5 仕事につきたくない
- 6 つく必要がない
- 7 考えていない

問8に
お進みください。

補問7-1、7-2をお答えください。

補問7-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 4 正規の職員・従業員 | 7 労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 2 自家営業の手伝い | 5 アルバイト | 8 契約社員・嘱託 |
| 3 自宅で賃仕事（内職） | 6 パート | 9 その他 |

補問7-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。

- 1 している 2 していない

問8～問12はすべての方がお答えください。

問8 配偶者（内縁関係も含む）はいますか。

- 1 いない 2 いる

補問8-2 配偶者と同居していますか。

- 1 同居していない 2 同居している

補問8-1 同居している異性のパートナーがいますか。

- 1 いる 2 いない

補問8-3 配偶者の生年月日、同居を開始した年月を記入してください。

配偶者の生年月日				
昭和	年	月	日	
同居を開始した年月				
1 昭和	2 平成	年	月	

問9 現在異性のパートナーがいる、いないにかかわらず、今後結婚したいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1 絶対したい | 3 どちらとも言えない | 5 絶対したくない |
| 2 なるべくしたい | 4 あまりしたくない | |

問10 子どもが（もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 絶対欲しい
- 2 欲しい
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまり欲しくない
- 5 絶対欲しくない

補問10-1（すでにいる子どもも含めて）全部で何人欲しいですか。

人

問11 あなたは家庭を築いていく上で、次のことがらについて夫婦のいずれが責任をもつべきだと思いますか。それぞれあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	主として夫が責任をもつべき	主として妻が責任をもつべき	夫婦いずれも同様に責任をもつべき	わからない
① 世帯の収入	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4
③ 育児	1	2	3	4

問 1 2 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間	分	休日	時間	分
----	----	---	----	----	---

問 1 3 あなたは、平成13年1年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり	2 なし
------	------

▶ 問 1 4にお進みください。

補問 13-1, 13-2をお答えください。

補問 13-1 あなた自身が平成13年1年間に働いて得た所得（税込み）についてお答えください。1万円未満は四捨五入してください。

なお、あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、全体の金額を記入してください。

1 働いて得た所得あり	2 働いて得た所得なし
▶ 配偶者の所得との区別	
1 できる	2 できない
▶ 配偶者以外の家族の所得との区別	
1 できる	2 できない
▶ 金額 <input type="text"/> 万円	
(あなたの所得と区別ができない家族の所得をすべて含めてご記入ください)	

補問 13-2 その他の所得についてお答えください。「その他の所得」には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当等の社会保障給付金などを含まます。

1 あり	▶ <input type="text"/> 万円
児童手当受給の有無	
1 あり	2 なし
2 なし	

配偶者のいない方又は配偶者と別居している方のみお答えください。

問 1 4 あなたが平成14年6月中に支出した額を下欄に記入してください（ここでいう支出については、右下の（注1）を参照してください）。

なお、親や兄弟など他のご家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

① 他家族の支出と区別	1 できる	2 できない
② 支出額 (③、④を含む)	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円	
③ うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり	2 なし
	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円	
④ うち、お子さんの教育費 (幼稚園、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり	2 なし
	<input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円	

注1：支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料を含みません。

注2：千円未満は四捨五入してください。

お子さんをお持ちでない方への質問は終了です。
6頁の自由記載欄にお進みください。

問15～問17は、お子さんをおもちの方のみお答えください。

問15 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | |
|------------|
| 1 大いにある |
| 2 多少ある |
| 3 それほどでもない |
| 4 ない |

補問 15-1 子育てについて、どのような負担を感じていますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 01 子育てによる身体の疲れが大きい |
| 02 子育てで出費がかさむ |
| 03 自分の自由な時間が持てない |
| 04 夫婦で楽しむ時間がない |
| 05 仕事が十分にできない |
| 06 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 07 子どもが病気がちである |
| 08 目が離せないので気が休まらない |
| 09 子どもにどのように接すればよいかわからない |
| 10 子どもに対して十分接していないという引け目を感じる |
| 11 社会から取り残されたような気がする |
| 12 その他 () |

問16 子育てをされていてよかったと感じることはありますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 家族の結びつきが深まった | 5 子育てを通じて自分の視野が広がった |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 6 自分の家族に対する責任感が強くなった |
| 3 毎日の生活にはりあいができた | 7 その他 () |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増えた | 8 よかったと思うことは特にない |

問17は、配偶者がいない方又は配偶者と別居している方のみお答えください。

問17 お子さんについてお答えください。(5人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

		小学生以下のお子さんについておうかがいします。											
		現在、平日の日中に世話をしている家族について、あてはまる番号 すべて に○をつけてください。											
		すべてのお子さんについておうかがいします。				あなた	配偶者	あなたの		配偶者の		その他	世話をする必要がない
性別	出生年月	同別居の別		父	母			父	母				
第1子	1 男	1 昭和	□	□	1 同居	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	□	□	2 別居								
第2子	1 男	1 昭和	□	□	1 同居	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	□	□	2 別居								
第3子	1 男	1 昭和	□	□	1 同居	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	□	□	2 別居								
第4子	1 男	1 昭和	□	□	1 同居	1	2	3	4	5	6	7	8
	2 女	2 平成	□	□	2 別居								

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

**たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。**

同封の封筒に密封のうえ、調査員にお渡しください。

なお、この調査の結果は、まとまり次第皆さまのもとにお届けします。

**少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきます
ので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。**

* この調査についての連絡・問い合わせ先

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課国民生活基礎調査室 電話 (03)〇〇〇〇-〇〇〇〇 Eメール
--

総務省承認 NO.
承認期限 平成 年 月 日まで

第 1 回 20~30 歳代男女縦断調査【配偶者票 (女性用)】(案)

(平成 14 年 月 日調査)

厚生労働省

調査員が記入

地区番号	単位区番号	世帯番号	
------	-------	------	--

問 1 あなたの生年月日についてお答えください。

昭和	年	月	日生
----	---	---	----

問 2 あなたのご両親の生死の別、同別居の別についてお答えください。

(1) あなたの父親	生死の別	同別居の別	(2) あなたの母親	生死の別	同別居の別
	1 生存 →	1 同居		1 生存 →	1 同居
	2 死別	2 別居		2 死別	2 別居

問 3 あなたが最後に卒業された (または在学中の) 学校はどれですか。あてはまる番号 **1 つ** に ○ をつけてください。

<p>(1) 最後に卒業された (または在学中の) 学校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 中学校</td> <td style="width: 50%;">5 大学</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>6 大学院</td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>4 短大・高専</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	5 大学	2 高校	6 大学院	3 専門学校	7 その他	4 短大・高専		<p>.....→</p> <p>(2) 卒業・在学中の別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 卒業</td> </tr> <tr> <td>2 在学中</td> </tr> </table>	1 卒業	2 在学中
1 中学校	5 大学										
2 高校	6 大学院										
3 専門学校	7 その他										
4 短大・高専											
1 卒業											
2 在学中											

問 4 あなたはこの 1 年間 (平成 13 年 7 月 ~ 14 年 6 月) に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号に ○ をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

<p>1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院している</p> <p>2 病気やケガの治療のため入院した</p> <p style="text-align: center;">平成 <input style="width: 30px;" type="text"/> 年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 月 ~ <input style="width: 30px;" type="text"/> 年 <input style="width: 30px;" type="text"/> 月</p> <p>3 上記 1、2 のようなことはなかった</p>
--

問 5 現在、所得を伴う仕事 (学生アルバイトも含む) についていますか。あてはまる番号 **1 つ** に ○ をつけてください。所得を伴う仕事には、家業 (農業を含む) の手伝いや内職も含まれます。

<p>補問 5-1 以降をお答えください。</p>	<p>1 仕事についている (休業中(育児休業、介護休業など)を含む) 仕事についていない (1 以外)</p> <p>2 家事に従事している</p> <p>3 通学している</p> <p>4 その他</p>	<p>問 6 にお進みください。</p>
---------------------------	--	----------------------

補問 5-1~5-2 を答える際は、休業中の方については、休業前の状況をもとにお答えください。

補問 5-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号 **1つ** に○をつけてください。なお、複数の仕事を持っている場合には、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- 1 会社などの役員・自営業主
- 2 自家営業の手伝い
- 3 自宅で賃仕事（内職）
- 4 正規の職員・従業員
- 5 アルバイト
- 6 パート
- 7 労働者派遣事業所の派遣社員
- 8 契約社員・嘱託
- 9 その他

補問 5-2 就業時間等についてお答えください。**複数**の仕事についている場合は、それらの**合計**でお答えください。

1 週間の就業時間 この1週間 時間

1 週間の勤務日数 通常 日

1 日の通勤時間
通常片道(往き) 時間 分

※ 複数の仕事についている場合は、1 週間の平均的な通勤時間を記入してください。

問 6 あなたの配偶者は家事・育児を行っていますか。

1 している 2 していない

補問 6-1 家事・育児を行ってくれることは、あなたにとってどの程度負担の軽減になっていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 非常に助かる 2 少しは助かる 3 あまり軽減とならない 4 軽減とならない

問 7 あなたは家庭を築いていく上で、次のことがらについて夫婦のいずれが責任をもつべきだと思いますか。それぞれあてはまる番号 **1つ** に○をつけてください。

	主として夫が責任をもつべき	主として妻が責任をもつべき	夫婦いずれも同様に責任をもつべき	わからない
① 世帯の収入	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4
③ 育児	1	2	3	4

問 8 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間	分	休日	時間	分
----	----	---	----	----	---

問 9 子どもが（もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号 **1つ** に○をつけてください。

- 1 絶対欲しい
- 2 欲しい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり欲しくない
- 5 絶対欲しくない

補問 9-1 （すでにいる子どもも含めて）全部で何人欲しいですか。

人

問 10 配偶者の生年月日、同居を開始した年月を記入してください。

配偶者の出生年月
昭和 年 月 日
同居を開始した年月
1 昭和 2 平成 年 月

問 1 1 あなたは、平成 1 3 年 1 年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり 2 なし → 問 1 2 にお進みください。

補問 11-1, 11-2 をお答えください。

補問 11-1 あなた自身が平成 1 3 年 1 年間に働いて得た所得（税込み）についてお答えください。
1 万円未満は四捨五入してください。
なお、あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、全体の金額を記入してください。

1 働いて得た所得あり	2 働いて得た所得なし
▶ 配偶者の所得との区別	
1 できる	2 できない
▶ 配偶者以外の家族の所得との区別	
1 できる	2 できない
▶ 金額 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 万円	
(あなたの所得と区別ができない家族の所得をすべて含めてご記入ください)	

補問 11-2 その他の所得についてお答えください。「その他の所得」には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当等の社会保障給付金などを含まれます。

1 あり → 万円

児童手当受給の有無 1 あり 2 なし

2 なし

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問 1 2 あなた及び配偶者が平成 1 4 年 6 月中に支出した額を下欄に記入してください（ここでいう支出については、右下の（注 1）を参照してください。）。

なお、親や兄弟など他のご家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

① 他家族の支出と区別	1 できる 2 できない
② 支出額 (③、④を含む)	<input type="text"/> <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円
③ うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり 2 なし <input type="text"/> <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円
④ うち、お子さんの教育費 (幼稚園、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり 2 なし <input type="text"/> <input type="text"/> 万 <input type="text"/> 千円

注 1 : 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料を含みません。

注 2 : 千円未満は四捨五入してください。

お子さんをおもちでない方への質問は終了です。
5 頁の自由記載欄にお進みください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

**たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。**

同封の封筒に密封のうえ、調査員にお渡しください。

なお、この調査の結果は、まとめ次第皆さまのもとにお届けします。

**少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきます
ので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。**

* この調査についての連絡・問い合わせ先

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課国民生活基礎調査室 電話 (03)〇〇〇〇-〇〇〇〇 Eメール
--

総務省承認 NO.
承認期限 平成 年 月 日まで

第 1 回 20～30 歳代男女縦断調査【配偶者票（男性用）】（案）

（平成 1 4 年 月 日調査）

厚生労働省

調査員が記入

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

問 1 あなたの生年月日についてお答えください。

昭和	年	月	日生
----	---	---	----

問 2 あなたのご両親の生死の別、同別居の別についてお答えください。

(1) あなたの父親	生死の別	同別居の別	(2) あなたの母親	生死の別	同別居の別
	1 生存 \rightarrow	1 同居		1 生存 \rightarrow	1 同居
	2 死別	2 別居		2 死別	2 別居

問 3 あなたが最後に卒業された（または在学中の）学校はどれですか。あてはまる番号 **1 つ** に ○ をつけてください。

<p>(1) 最後に卒業された（または在学中の）学校</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 中学校</td> <td style="width: 50%;">5 大学</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>6 大学院</td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>4 短大・高専</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	5 大学	2 高校	6 大学院	3 専門学校	7 その他	4 短大・高専		\rightarrow	<p>(2) 卒業・在学中の別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 卒業</td> </tr> <tr> <td>2 在学中</td> </tr> </table>	1 卒業	2 在学中
1 中学校	5 大学											
2 高校	6 大学院											
3 専門学校	7 その他											
4 短大・高専												
1 卒業												
2 在学中												

問 4 あなたはこの 1 年間（平成 1 3 年 7 月～1 4 年 6 月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号に ○ をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院している									
2 病気やケガの治療のため入院した									
平成		年		月	～		年		月
3 上記 1、2 のようなことはなかった									

問5 現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

補問 5-1 以降をお答えください。	1 仕事についている（休業中(育児休業、介護休業など)を含む) 仕事についていない（1以外）	問6にお進みください。
	2 家事に従事している	
	3 通学している	
	4 その他	

補問 5-1～5-2 を答える際は、休業中の方については、休業前の状況をもとにお答えください。

補問 5-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。なお、複数の仕事を持っている場合には、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- 1 会社などの役員・自営業主
- 2 自家営業の手伝い
- 3 自宅で賃仕事（内職）
- 4 正規の職員・従業員
- 5 アルバイト
- 6 パート
- 7 労働者派遣事業所の派遣社員
- 8 契約社員・嘱託
- 9 その他

補問 5-2 就業時間等についてお答えください。**複数**の仕事についている場合は、それらの合計でお答えください。

1週間の就業時間	この1週間	<input type="text"/>	時間
1週間の勤務日数	通常	<input type="text"/>	日
1日の通勤時間	通常片道(往き)	<input type="text"/>	時間 <input type="text"/>
			分
※ 複数の仕事についている場合は、1週間の平均的な通勤時間を記入してください。			

問6 あなたは家庭を築いていく上で、次のことがらについて夫婦のいずれが責任をもつべきだと思いますか。それぞれあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	主として夫が責任をもつべき	主として妻が責任をもつべき	夫婦いずれも同様に責任をもつべき	わからない
① 世帯の収入	1	2	3	4
② 家事	1	2	3	4
③ 育児	1	2	3	4

問7 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間	分	休日	時間	分
----	----	---	----	----	---

問8 子どもが（もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- 1 絶対欲しい
- 2 欲しい
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり欲しくない
- 5 絶対欲しくない

補問 8-1 （すでにいる子どもも含めて）全部で何人欲しいですか。

人

問9 あなたは、平成13年1年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり 2 なし → 問10にお進みください。

補問9-1, 9-2をお答えください。

補問9-1 あなた自身が平成13年1年間に働いて得た所得(税込み)についてお答えください。1万円未満は四捨五入してください。

なお、あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、全体の金額を記入してください。

1 働いて得た所得あり	2 働いて得た所得なし
→ 配偶者の所得との区別	
1 できる	2 できない
→ 配偶者以外の家族の所得との区別	
1 できる	2 できない
→ 金額	<input type="text"/> 万円
(あなたの所得と区別ができない家族の所得をすべて含めてご記入ください)	

補問9-2 その他の所得についてお答えください。「その他の所得」には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当等の社会保障給付金などを含まれます。

1 あり	→	<input type="text"/> 万円
児童手当受給の有無		
1 あり	2 なし	
2 なし		

お子さんをおもちでない方への質問は終了です。
4頁の自由記載欄にお進みください。

問10は、お子さんをおもちの方のみお答えください。

問10 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 大いにある
2 多少ある
3 それほどでもない
4 ない

補問10-1 子育てについて、どのような負担を感じていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 01 子育てによる身体の疲れが大きい
- 02 子育てで出費がかさむ
- 03 自分の自由な時間が持てない
- 04 夫婦で楽しむ時間がない
- 05 仕事が十分にできない
- 06 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
- 07 子どもが病気がちである
- 08 目が離せないので気が休まらない
- 09 子どもにどのように接すればよいかわからない
- 10 子どもに対して十分接していないという引け目を感じる
- 11 社会から取り残されたような気がする
- 12 その他 ()

問 1 1 子育てをしていてよかったと感じることはありますか。あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 家族の結びつきが深まった | 5 子育てを通じて自分の視野が広がった |
| 2 子どもとのふれあいが楽しい | 6 自分の家族に対する責任感が強くなった |
| 3 毎日の生活にはりあいができた | 7 その他() |
| 4 子育てを通じて自分の友人が増えた | 8 よかったと思うことは特にな |

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

**たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。**

同封の封筒に密封のうえ、調査員にお渡しください。

なお、この調査の結果は、まとめ次第皆さまのもとにお届けします。

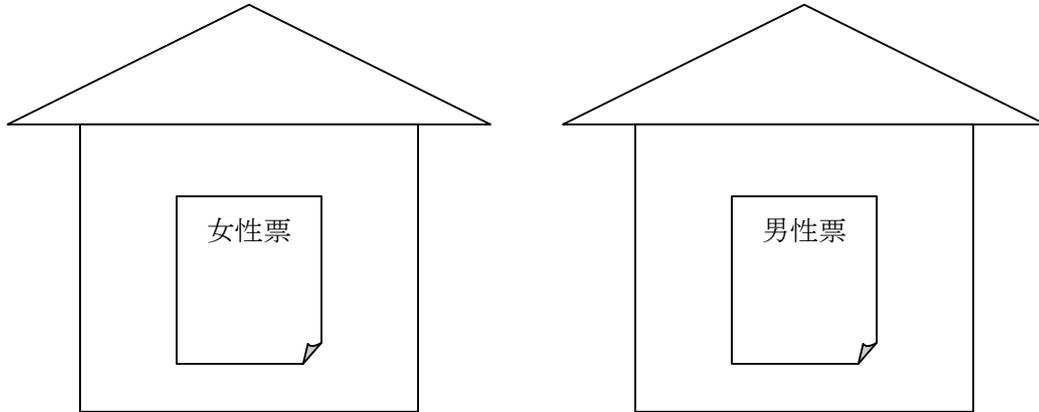
少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

* この調査についての連絡・問い合わせ先

厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課国民生活基礎調査室 電話 (03)〇〇〇〇-〇〇〇〇 Eメール
--

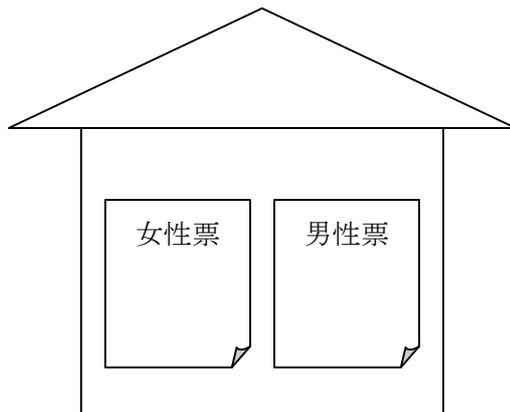
配布される調査票の種類

1 配偶者がいない場合

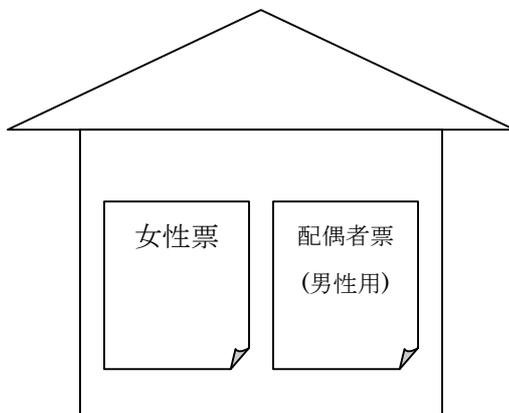


2 配偶者がいる場合

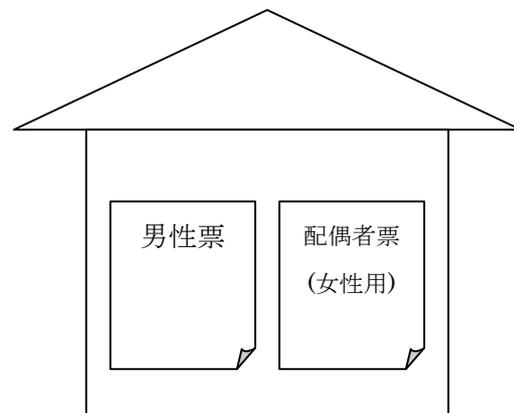
(1) 両方ともに 20~34 歳の場合



(2) 女性だけが 20~34 歳の場合
(男性は 19 歳以下又は 35 歳以上)



(3) 男性だけが 20~34 歳の場合
(女性は 19 歳以下又は 35 歳以上)



第1回 20～30歳代男女縦断調査 質問項目(案)整理表

質問項目	調査票			
	女性票	男性票	配偶者票 (女性用)	配偶者票 (男性用)
生年月日	問1	問1	問1	問1
同居者の人数	問2	問2	—	—
親の生死、同別居	問3	問3	問2	問2
配偶者(結婚)の有無	問8	問8	—	—
同別居	補問8-3 (配偶者ありのみ)	補問8-2 (配偶者ありのみ)	—	—
	補問8-2 (配偶者ありのみ)	補問8-3 (配偶者と別居のみ)	問10	—
	補問8-2 (配偶者ありのみ)	補問8-3 (配偶者と別居のみ)	問10	—
配偶者の生年月日	補問8-2 (配偶者ありのみ)	補問8-3 (配偶者と別居のみ)	問10	—
同居を開始した年月	補問8-2 (配偶者ありのみ)	補問8-3 (配偶者と別居のみ)	問10	—
異性のパートナーとの同居	補問8-1 (配偶者なしのみ)	補問8-1 (配偶者なしのみ)	—	—
学歴	問4	問4	問3	問3
健康状態	問5	問5	問4	問4
所得を伴う仕事の有無	問6	問6	問5	問5
複数の仕事の有無	複数の仕事の有無	補問6-1	補問6-1	—
	就業形態	補問6-2	補問6-2	補問5-1
	雇用保険加入の有無	補問6-2	補問6-2	—
	規模・官公庁の別	補問6-3	補問6-3	—
	職業	補問6-4	補問6-4	—
	現在の仕事の開始時	補問6-5	補問6-5	—
	就業時間	補問6-6	補問6-6	補問5-2
	勤務日数	補問6-6	補問6-6	補問5-2
通勤時間	補問6-6	補問6-6	補問5-2	補問5-2
今後の就業意欲	問7 (仕事なしのみ)	問7 (仕事なしのみ)	—	—
希望する就業形態	補問7-1 (仕事なしのみ)	補問7-1 (仕事なしのみ)	—	—
	補問7-2 (仕事なしのみ)	補問7-2 (仕事なしのみ)	—	—
求職活動の有無	補問7-2 (仕事なしのみ)	補問7-2 (仕事なしのみ)	—	—
結婚後の就業継続意思	補問9-1 (配偶者なしのみ)	—	—	—
結婚に関する事実	補問9-2 (配偶者なしのみ)	—	—	—
	補問9-2 (配偶者なしのみ)	—	—	—
出産後の就業継続意思	補問10-2	—	—	—
出産に関する事実	補問10-3	—	—	—
結婚意思	問9 (配偶者なしのみ)	問9 (配偶者なしのみ)	—	—
子どもが欲しいか	問10	問10	問9	問8
欲しい子ども数	補問10-1	補問10-1	補問9-1	補問8-1
配偶者の家事参加の有無	補問8-4 (配偶者ありのみ)	—	問6	—
負担軽減の程度	補問8-5 (配偶者ありのみ)	—	補問6-1	—
家庭観	問11	問11	問7	問6
家事・育児時間	問12	問12	問8	問7
子どもについて	性別・出生年月 (子ありのみ)	問15 (子ありのみ)	問17 (子あり・配偶者なし又は 配偶者と別居のみ)	問13 (子ありのみ)
	日中世話をしている人	問15 (子ありのみ)	問17 (子あり・配偶者なし又は 配偶者と別居のみ)	問13 (子ありのみ)
子育て負担感	問16、補問16-1 (子ありのみ)	問15、補問15-1 (子ありのみ)	問14、補問14-1 (子ありのみ)	問10、補問10-1 (子ありのみ)
子育ての良さ	問17 (子ありのみ)	問16 (子ありのみ)	問15 (子ありのみ)	問11 (子ありのみ)
所得の有無	問13	問13	問11	問9
働いて得た所得	補問13-1	補問13-1	補問11-1	補問9-1
その他の所得	補問13-2	補問13-2	補問11-2	補問9-2
支出	問14	問14 (配偶者なし又は 配偶者と別居のみ)	問12	—

<2年目以降追加する予定の調査項目(案)>

基礎的事項:住居の状況

少子化関係:会社等における仕事と子育ての両立支援制度の有無及び利用状況、保育サービス等の利用状況

就業関係:産業分類、職歴、職業観

家計関係:資産、負債

社会保障関係:社会保障給付及び負担